

科目名 (科目番号)		地域連携論 (時間割参照)	教員名	藤咲美輝 福田久子	学科等	看護	必修	履修年次	3
					曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
					授業形態	講義	オフィスアワー	A313研究室(藤咲)	
授業概要		保健・医療・福祉の視点で地域包括ケアを推進していくうえで、専門職種だけではなく、さまざまな職種や人々との連携が必要となる。地域における多職種との連携と協働、地域の中での人的・社会的資源を活用・応用できるための知識を学修する。さらに、多職種連携・協働の概念を学ぶ講義、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通して学生の主体的学びを促進し、継続的な学修のあり方について学びを深めていく。							
目的・目標		目的:地域において多職種で連携を図る意義を理解し、多職種と協働するための基本的な能力を身につける。 目標:多職種の役割を理解し、グループワークを通して地域・在宅における看護職者の役割について説明できる。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	対象者の疾患概要		到達目標:対象者(紙上事例)の生活支援・看護について理学療法学科の学生と協働し、自分の考えを述べることができる。 学習内容:対象者の在宅療養生活をどのように支援するか、多職種連携の視点から考える。 (理学療法学科との合同授業)					
	2	対象者の理解		到達目標:対象者への生活支援・看護について、理学療法学科の学生と協働し、自身の考えを述べることができる。 学習内容:対象者の在宅生活の支援内容や方法について、多職種連携の視点から考える。 (理学療法学科との合同授業)					
	3	グループワーク 1		到達目標:対象者が望む生活実現のための多職種の役割について発言ができる。 学習内容:他学科学生と協働して援助計画を立案し、プレゼンテーションを行う。 (理学療法学科との合同授業)					
	4	グループワーク 2		到達目標:対象者が望む生活実現のための多職種の役割について発言ができる。 学習内容:他学科学生と協働して援助計画を立案し、プレゼンテーションを行う。 (理学療法学科との合同授業)					
	5	地域における連携・協働の概念 地域・在宅における多職種連携 ～看護職の役割について～		到達目標:地域における多職種や人的・社会的資源には何があるかを学習する。 学習内容:地域における多職種との連携と協働、地域の中での人的・社会的資源について理解する。 (外部講師:食べたいおくちから 施設長認定看護師 飯原由貴子氏)					
	6			到達目標:実際に訪問看護施設において、活動実践している認定看護師の講義を聴講し、多職種連携における看護職の役割について考える。 学習内容:招聘講師による講義「訪問看護における認定看護師の活動実践」を聴講し学習する。 (外部講師:食べたいおくちから 施設長認定看護師 飯原由貴子氏)					
	7	地域共生社会①		到達目標:地域共生社会の実現のために、地域で看護師が果たすべき役割を学習し、自分の意見を述べる事ができる。 学習内容:地域共生社会に向けた地域の社会資源と看護師の連携・協働についてディスカッションを行う。					
	8	地域共生社会②		到達目標:地域共生社会の実現のために、地域で看護師が果たすべき役割を学習する。 学習内容:地域共生社会に向けた地域の社会資源と看護師として具体的にできる事を企画し、プレゼンテーションを行う。					
成績評価の方法・基準		対面・オンライン共通 :課題レポート(60%)、グループワーク・発表(40%)で評価する。							
教科書		系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の実際 地域・在宅看護論2			河原加代子 著者代表		医学書院		
参考図書		認知症plus地域共生社会			近藤尚己 五十嵐歩		日本看護協会		
教員からのメッセージ		地域・在宅に関連する多職種連携・協働において、看護職としてどういう専門能力を発揮できるかを考えながら学んで行きましょう。また、他学科学生とのグループワークを通して合同授業の中での連携・協働についても考えていきましょう。病院で看護師として勤務の経験がある教員がこの授業を担当します。オンライン授業等に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							